



山本じゅんじ

日本共産党

神戸市会報告

須磨区版 2016年春号

発行 日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165 市議団HP <http://www.jcp-kobe.com/>

須磨区事務所 お気軽にご相談ください

神戸市須磨区寺田町1-1-13 TEL 732-6578

日本共産党神戸市会議員団

検索

三宮一極集中の
予算ではなく

住みよい須磨区へ予算を!

予算議会では、空港や医療産業都市など従来の大型事業に加え、都心の再整備が議論となりました。「最優先でバスターミナルが必要」(市長)と、中央区役所や神戸市勤労会館、三宮図書館の移転をすすめようとしています。市民にとっていちばん身近な公共施設の移転を、市民の意見も十分聞かないままトップダウンで強行しようとするのは問題で

す。また、ウォーターフロント地区では40億円で土地を買い取り、民間による開発をすすめようとしています。「高品質なマンション」などを建てるとしていますが、富裕層向けの対策に、なぜ市税の投入が必要なのか疑問です。

日本共産党議員団は、三宮一極集中の開発ではなく、須磨区をはじめ各区の課題解決へ力を尽くしがんばります。

予算特別委員会で山本じゅんじ議員は、水道局と建設局に対して質疑しました。

水道局審査より

老朽管対策は国の支援を求めるよ

料金値上げとならない対策を

水道事業における今後の見通しについて、給水収益が減少する一方、今後老朽管の更新費などが増えるとして、料金体系の見直しに言及されています。

いまの仕組みでは、水道管の敷設には国の補助があるものの、老朽管の更新は料金収入でまかなうことが原則とされています。費用の増大は料金の値上げに直結しかねません。

山本じゅんじ議員は、神戸市が老朽化対策について国の補助を要望していることを指摘。継続して取り組むことを求めるとともに、市の新都市整備事業会計からの繰り入れを求める、「料金値上げとならないようすべき」と対策を求めました。

主な質疑

- 過去の投資における借金返済などの長期見通し
- 直結給水の普及

建設局審査より

元町高架通商店街

商店街継続へJR西日本に働きかけを



建設局へ質疑

JR西日本が神戸駅から元町駅までの高架の補修や耐震化を理由に、高架下店舗の立ち退きを進めています。土地の所有はJRですが、商店街南側は建設局が土地を借りて、商店街の組合へ長年貸し出してきました。

戦後の歴史的経過のなかで形作られた商店街。味わいのある商店街として神戸を代表するスポットとして賑わってきました。

山本じゅんじ議員は、商店街として継続できるよう、産業振興局と連携してJR西日本に強く働きかけるよう求めました。

主な質疑

- 東遊園地の芝生化問題について
- 須磨多聞線について